

私が変わる 未来を変える 『吉高エシカルプロジェクト』

～農商連携強化でエシカル消費の推進～

徳島県立吉野川高等学校

①伝統文化と技術の継承



②吉野川市の伝統文化「菊人形」の魅力を次世代へと伝承するため、菊栽培の実践を通して地域の活性化を目指している。また、徳島県は日本でも有数の林業県であり、地場産業の木工から、伝統工芸品として制作されていた「遊山箱」を見直し、絵付け体験をとおして文化と技術の継承について再認識する。

③農業科（生物活用科）および商業科（食ビジネス科）

④令和2年度から

⑤校内および校外



⑥地元の専門家から指導をいただきながら実践的に学び、菊の管理を通して「菊づくり」の伝承を探求している。「遊山箱」についても、保存会の木工職人さんを招聘し、指導していただいた。

⑦次世代の担い手としての役割を認識し、伝統文化を継承するとともに、その大切さを考える絶好の機会となった。

①フードロス削減と スクールカフェの運営



②農場や地域で規格外となった農産物も収穫し，加工して有効活用し，地産地消やフードロス削減に努める。また，フェアトレード商品やオーガニック商品を使用したメニューもスクールカフェで提供し，SDGsの普及啓発に努める。



③農業科（農業科学科）および商業科（食ビジネス科）

④平成27年度から

⑤校内および校外

⑥農場や地域で規格外となった農産物を加工した商品やフェアトレード商品・オーガニック商品を使用したメニュー，冷蔵庫にある余り物で考案した非常食などを「スクールカフェ吉野川」で提供している。



⑦フードロス削減や自然災害への意識を高め，日頃の消費生活を見直すとともに，お客様にお伝えする意義を感じた。

① かもじま駅前にぎわいづくりと 紙袋カムバック作戦



② 人通りが少なくシャッター街化した地元商店街の活性化とお客様とのコミュニケーションを通じて、学びの機会を得る。また、カーボンニュートラルの時代を見据え、資源の有効活用への理解をはかる。

③ 農業科（農業科学科・生物活用科）および商業科（食ビジネス科）

④ 令和元年度から

⑤ 校内および校外

⑥ 地元商店街の空き店舗を活用し、農業科が栽培・収穫した農産物や加工品を販売する。レジ袋削減のため、校内で呼びかけて回収した紙袋を、エコバッグをお持ちでないお客様に配布し、趣旨を伝えた。

⑦ 人通りが少ないのではなく、イベントがあれば人は集まる。私たち高校生として、「何ができるのか」を考える絶好の機会となっている。

